令和６年度第１回ふれあいデイサービスセンター運営推進会議（議事録）

日時：令和6年６月２５日（火）午前１０時～１０時５０分

場所：日進市中央福祉センター　２階　多機能室（北）

出席者：**構成員（敬称略）**

（蟹甲区長）上部　鋭夫　　　（民生委員）志水　早苗

（家族代表）田村　正子　　　（日進市介護福祉課）小柳　和之

（日進市中部地域包括支援センター）津田 明宏

**ふれあい介護支援センター**

（管理者）天野　典幸　　　　　（看護師）井川　倫子

（包括支援係長）富岡　亜希子

１　あいさつ

管理者　天野より

２　自己紹介

　構成員および職員の自己紹介

３　議題

1. 事業所の概要

配布資料「ふれあいデイサービスセンター現状報告（１ページ）」に沿って、サービスの種類等、概要説明

* 1. 以下の３種類の事業を同時間、同施設で実施中。

・要介護の方に通所していただく地域密着型通所介護事業

　　・要支援（軽度）の方に通所していただく総合事業としての通所介護事業

　　・障害者の方に通所していただく共生型生活介護事業

* 1. 上記事業を同時に提供するメリット

・障害者が高齢になり、介護保険サービスを利用するタイミングでも本施設の利　用が継続できる。

・高齢者と障害者がつどい、刺激し合うことで新たな関係性ができる。

1. 利用状況（人数、介護度等）報告

### ・年末年始に関する事情やご家族の体調不良などで、短期入所生活介護（ショ　ートステイ）を利用された方もみえたため、12月・１月の利用延人数が減少した。

　　・地域密着型通所外語利用者の介護度は、要介護１・２の方がやや多い。

　　・共生型生活介護利用者の障害支援区分は、区分５・６の方が多い。

　　・男性の利用者が多いことが、本センターの特徴。

[質問]

Q１：デイサービスを利用したい方は、地域の民生委員等に相談し、利用開始するものか。内容がわからないと思うが、どのように利用開始となるか。

A１：介護保険を利用するための申請後、包括やケアマネジャーに相談し、デイサービスを利用することが本人にとって有効と思われる場合は、「体験」していただき利用開始となる。

内容だけでなく、居室の広さや浴室の雰囲気等、利用者様の意向と合致しているか、体験時に確認していただいている。

Q２：なぜ男性利用者が多いか。

Ａ２：浴室が大きいこと、食事量が多いこと、幼少期からの知り合いが利用していること等の理由を聞くことがある。

1. 活動状況（行事等、レクリエーション等）報告
	1. 回想法やパソコン等の各種講座を曜日ごとに開催を継続。
	2. 脳トレーニングとなる文字探し、体を使う空気砲、すごろくゲーム、おやつ作りを実施。
	3. 季節行事として、初詣（外出）やゆず風呂実施。
	4. エアロバイク・階段昇降等の機能訓練実施。
	5. ボランティアセンターのボランティアに依頼した、アロママッサージ、お話相手、将棋等のボランティア（地域住民）との交流。
	6. 11月避難訓練を実施。（11月）

当日参加以外の利用者様には、口頭による机上訓練※を実施。

※令和5年度の本会議にて提案された内容

[意見]

　　・利用曜日によって、おやつ作りに参加できないことがある。

　　⇒参加していただけるよう、利用日や時間等を検討したい。

　　・地域のサロン開催時に、レク内容を考えることに悩むので、デイサービスの多様なレクを考えていてすごいと思う。

　　⇒地域密着型デイサービスの目的とも合致するので、情報交換させていただきたい。また、社協のボランティアセンターのボランティア派遣も活用いただきたい。

1. 事故、ヒヤリ・ハット、苦情報告

　 ①「不穏者の離設」「車椅子移動時のフットレスト利用の失念」等の事故について報告

[質問]

　　Q３：離設防止のついたてはどのように設置しているか。

　　A３：可動式パーテーション、立入禁止テープ等を重層的に設置していること、

　　　　　不穏者に１～複数名で付添対応していること等を説明。

[意見]

　・ヒアリ・ハットは、事故になる前の気づきなので、0件よりも、職員同士で出し合って確認することが大切だと思う。

　⇒危険に気付ける職員の感度をあげて、ヒヤリ・ハットは多く感じることができるようにし、事故件数はゼロ件になるよう今後努めたい。

1. 医療、看護報告

・2月に職員１名が新型コロナウイルス感染したことを報告。

・昨年度、クラスターをだしてしまったため、職員一人一人が常時消毒液を入れたポーチをつけていること、風呂マット等の洗浄、消毒は実施していたが、大幅に買い替えたこと等を報告。

４　その他

・今年度より、義務化されている「虐待防止に関する指針」や「身体拘束等」に関する指針を作成したため報告。

以上